



地元三河で半世紀余の実績があります。 自然素材を使い、自社の大工により 末永く安心して暮らせる家をつくります。

中垣建設株式会社(愛知県豊田市)



腕のいい大工さんが
在来工法で建てる家が
一番なのです

社長自ら最初から最後まで施工と話し合い、自ら設計にかかわると同時に施工はすべて自社で完結。一番重要な大工仕事は外注せず、自社の熟練した大工が手がける。真面目・徹な工務店である。

愛知県豊田市で半世紀以上の実績を誇る、中垣建設株式会社。社長の中垣幸春さんは、生まれも育ちも地元の三河。子どものころの遊び場は父親の現場。だった。鉋屑を玩具に、働く父の背中を見て成長した。

工業高校を卒業後、市内のゼネコンに就職し、さまざまな現場経験を積み、家業を継いだ。その間、実弟

5段階評価	
1 災害などによる耐久性	★★★★☆ 4.5
2 経年による劣化耐久性	★★★★☆ 4.5
3 耐震性/ライセンス	★★★★★ 4.9
4 省エネルギー性	★★★★ 4.3
5 施工能力/柔軟性	★★★★☆ 4.6

は本物の大工一筋の修業を積み重ね、いまや同社は兄弟が柱、あるいは車の両輪となって家づくりを続けていく。二人の思いは同じだ。

「家族が幸せに末永く安心して暮らせる家を作る」と、中垣社長。子どもが成長し、両親は歳を取っていく。当然、住まいの使い方も考え方も変わっていく。

「その時を考えて、リフォームしやすい家にする。それには在来工法で、腕のいい大工が建てるのが一番です。ですから当社では、大工を育て、優秀な大工によってお施主様の夢を形にしているのです」

現在、弟さんの息子さんも大工として同社で働く。地元では、兄弟でつくる家。あるいは、親子の大工が

い。皆さんにこんな、空気の流れい。な家。に住んでほしいのです」

中垣建設では、昔ながらの仏間、床の間のある和室づくりも得意としているそうだ。

「和室を造りたいという施主様は決して少なくありません。はじめはそこまで本格的な和室は不要という方も、長押、二重廻り、笠縁天井、雪見障子など、実際にご覧になったり、伝統の和室とはどのようなものかを知っていただくと、我が家にもぜひ、となられるようです」

もちろん、このような伝統工法は、その技術をしっかりと持っているからこそできることなのだ。

つくる家。などと言われ、それがお客様の安心にもつながって評判を呼んでいるという。

一方で、中垣建設では資材にもこだわる。自然素材を多用し、化学物質をできる限り使わない。

「無垢の木材など自然素材の使用をお勧めしています。それが結局、住む人の生命、財産を守ることになるからです。また、無垢材を使う仕事はごまかせません。必ず腕のいい大工が必要なのです」

日本の伝統文化の息づく 自然素材の家に 住んでいただきたい

中垣社長が提案しているひとつに、「真壁の家」がある。本物の無垢の木と自然素材でつくる住宅だ。

「日本人の美意識や伝統文化を次の世代に伝えたい。そんな思いが知恵と工夫を生み、若い世代の方々にも手の届く価格帯で、省コストの家を実現しました。漆喰や木の自然力でカビや湿気を抑えます。自然素材の枠には虫がつきにくく、殺菌効果もあります。木肌の心地よさ、木の温もり。見た目にも体にもよい住ま



「家づくりは職人さんの手作りです。それぞれの職人が責任を持つことが重要です。特に、大工の腕は家づくりのほとんどを左右します。責任をもって作るためにも自社大工でなければいけないと思います」と、中垣社長



お客様の声

中垣社長と何度かお話ししていたら、この人なら安心して任せられる。と、思いました。始めの一本目の柱を立てるときも、大工さんと一緒に立てさせてもらい感激ひとしおでした。住まいは、玄関を開けるとフワッと木のいい香りがします。いつも子どもと床に寝転んで癒されています。木の感触、温もり。家族が自然と笑顔になる家です。(下様)

中垣建設株式会社



中垣社長

- 代表者 中垣幸春
- 本社 愛知県豊田市 生駒町大坪106
- 電話 0565-57-2206
- 設立 平成3年8月
- 事業内容 建設業
- 建築工法 在来工法(軸組)
- 建築工法 豊田市、知立市、みよし市、東郷町、岡崎市。
- 建築工法 刈谷市、豊明市、安城市、高浜市、碧南市

http://daiku-nakagaki.jp